


# まとめ 標準解答


- 解答は、標準的な操作手順で記載しています。
- 設定する項目が一覧にない場合は、任意の項目を選択してください。

## Lesson 35





### ①

- ① シート「売上表」の1行目から3行目までを表示
- ② 行番号【4】をクリック
- ③ 《表示》タブを選択
- ④ 《ウィンドウ》グループの  (ウィンドウ枠の固定) をクリック
- ⑤ 《ウィンドウ枠の固定》をクリック
- ⑥ シートを下方向にスクロールし、シート「売上表」のデータを確認



### ②

- ① シート「売上表」のセル【B4】をクリック
- ② 《ホーム》タブを選択
- ③ 《数値》グループの  (表示形式) をクリック
- ④ 《表示形式》タブを選択
- ⑤ 《分類》の一覧から《ユーザー定義》を選択
- ⑥ 《種類》に「000000」と入力
- ⑦ 《OK》をクリック

### ③



- ① シート「売上表」のセル【B4】を選択し、セル右下の  (フィルハンドル) をダブルクリック
- ②  (オートフィルオプション) をクリック  
※  (オートフィルオプション) をポイントすると、 になります。
- ③ 《連続データ》をクリック

### ④


- ① シート「売上表」のセル【E4】をクリック
- ②  (関数の挿入) をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリック
- ④ 《検索/行列》をクリック
- ⑤ 《関数名》の一覧から《VLOOKUP》を選択
- ⑥ 《OK》をクリック
- ⑦ 《検索値》にカーソルがあることを確認
- ⑧ セル【D4】をクリック
- ⑨ 《範囲》のボックスにカーソルを移動

- ⑩ シート「得意先リスト」のセル範囲【B4:H10】を選択
- ⑪ **[F4]**を押す
- ⑫ 《列番号》に「2」と入力
- ⑬ 《検索方法》に「FALSE」と入力
- ⑭ 数式バーに「=VLOOKUP(D4,得意先リスト!\$B\$4:\$H\$10,2,FALSE)」と表示されていることを確認
- ⑮ 《OK》をクリック
- ⑯ セル【E4】を選択し、セル右下の■(フィルハンドル)をダブルクリック

## ⑤

- ① シート「売上表」のセル【G4】をクリック
- ②  (関数の挿入) をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリック
- ④ 《検索/行列》をクリック
- ⑤ 《関数名》の一覧から《VLOOKUP》を選択
- ⑥ 《OK》をクリック
- ⑦ 《検索値》にカーソルがあることを確認
- ⑧ セル【F4】をクリック
- ⑨ **[F4]**を3回押す
- ⑩ 《範囲》のボックスにカーソルを移動
- ⑪ シート「商品リスト」のセル範囲【B4:D8】を選択
- ⑫ **[F4]**を押す
- ⑬ 《列番号》に「2」と入力
- ⑭ 《検索方法》に「FALSE」と入力
- ⑮ 数式バーに「=VLOOKUP(\$F4,商品リスト!\$B\$4:\$D\$8,2,FALSE)」と表示されていることを確認
- ⑯ 《OK》をクリック
- ⑰ セル【G4】を選択し、セル右下の■(フィルハンドル)をセル【H4】までドラッグ
- ⑱ セル【H4】をダブルクリック
- ⑲ セル【H4】の数式を「=VLOOKUP(\$F4,商品リスト!\$B\$4:\$D\$8,3,FALSE)」に修正
- ⑳ **[Enter]**を押す

## ⑥

- ① シート「売上表」のセル【H4】をクリック
- ② 《ホーム》タブを選択
- ③ 《数値》グループの  (桁区切りスタイル) をクリック
- ④ セル範囲【G4:H4】を選択し、セル範囲右下の■(フィルハンドル)をダブルクリック





### POINT

オートフィルを使って数式をコピーすると、表示形式などの書式もコピーされます。コピー元のセルに書式を設定しておく、あとからセル範囲を選択して書式を設定する手間がかからないので効率的です。


## ⑦

- ① シート「売上表」のセル【J4】に「=H4\*I4」と入力
- ② セル【J4】を選択し、セル右下の■ (フィルハンドル) をダブルクリック




## ⑧

- ① シート「売上集計表」のセル【E4】をクリック
- ② 数式バーの  (関数の挿入) をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリック
- ④ 《数学/三角》をクリック
- ⑤ 《関数名》の一覧から《SUMIF》を選択
- ⑥ 《OK》をクリック
- ⑦ 《範囲》にカーソルがあることを確認
- ⑧ シート「売上表」のセル範囲【D4:D44】を選択
- ⑨  を押す
- ⑩ 《検索条件》のボックスにカーソルを移動
- ⑪ シート「売上集計表」のセル【B4】をクリック
- ⑫ 《合計範囲》のボックスにカーソルを移動
- ⑬ シート「売上表」のセル範囲【J4:J44】を選択
- ⑭  を押す
- ⑮ 数式バーに「=SUMIF(売上表!\$D\$4:\$D\$44,B4,売上表!\$J\$4:\$J\$44)」と表示されていることを確認
- ⑯ 《OK》をクリック
- ⑰ セル【E4】を選択し、セル右下の■ (フィルハンドル) をセル【E10】までドラッグ


## ⑨

- ① シート「売上集計表」のセル範囲【D4:F11】を選択
- ② 《ホーム》タブを選択
- ③ 《編集》グループの  (合計) をクリック

## ⑩

- ① シート「売上集計表」のセル【G4】に「=F4/\$F\$11」と入力
- ②  を押す
- ③ セル【G4】をクリック
- ④ 《ホーム》タブを選択
- ⑤ 《数値》グループの  (パーセントスタイル) をクリック
- ⑥ 《数値》グループの  (小数点以下の表示桁数を増やす) をクリック
- ⑦ セル【G4】を選択し、セル右下の■ (フィルハンドル) をセル【G11】までドラッグ

## 11


- ① シート「売上表」のセル【B3】をクリック  
※表内のセルであれば、どこでもかまいません。
- ② 《挿入》タブを選択
- ③ 《テーブル》グループの  (ピボットテーブル) をクリック
- ④ 《テーブル/範囲》に「売上表!\$B\$3:\$J\$44」と表示されていることを確認
- ⑤ 《新規ワークシート》を  にする
- ⑥ 《OK》をクリック
- ⑦ 《ピボットテーブルのフィールド》作業ウィンドウの「得意先名」を《フィルター》のボックスにドラッグ
- ⑧ 「売上日」を《行》のボックスにドラッグ
- ⑨ 「商品名」を《列》のボックスにドラッグ
- ⑩ 「売上金額」を《値》のボックスにドラッグ

### POINT


値エリアの集計方法は、値エリアに配置するフィールドのデータの種類によって異なります。初期の設定では、次のように集計されますが、集計方法はあとから変更できます。

データの種類	集計方法
数値	合計
文字列	データの個数
日付	データの個数


## 12

- ① シート「Sheet1」のセル【A5】をクリック  
※行ラベルエリアの「売上日」のセルであれば、どこでもかまいません。
- ② 《ピボットテーブル分析》タブを選択
- ③ 《グループ》グループの  (フィールドのグループ化) をクリック
- ④ 《単位》の《月》が選択されていることを確認
- ⑤ 《単位》の《月》をクリックし、選択を解除
- ⑥ 《単位》の《日》を選択
- ⑦ 《日数》を「7」に設定
- ⑧ 《OK》をクリック


## 13

- ① シート「Sheet1」のセル【B5】をクリック  
※値エリアのセルであれば、どこでもかまいません。
- ② 《ピボットテーブル分析》タブを選択
- ③ 《アクティブなフィールド》グループの  (フィールドの設定) をクリック
- ④ 《表示形式》をクリック
- ⑤ 《分類》の一覧から《数値》を選択
- ⑥ 《桁区切り(,)を使用する》を  にする
- ⑦ 《OK》をクリック
- ⑧ 《OK》をクリック


## 14

- ① シート「Sheet1」のセル【A3】をクリック  
※ピボットテーブル内のセルであれば、どこでもかまいません。
- ② 《デザイン》タブを選択
- ③ 《ピボットテーブルスタイル》グループの  (その他) をクリック
- ④ 《濃色》の《濃い青,ピボットスタイル(濃色)2》(左から2番目、上から1番目) をクリック


## 15

- ① シート「Sheet1」のセル【A3】をクリック  
※ピボットテーブル内のセルであれば、どこでもかまいません。
- ② 《ピボットテーブル分析》タブを選択
- ③ 《ツール》グループの  (ピボットグラフ) をクリック
- ④ 左側の一覧から《横棒》を選択
- ⑤ 右側の一覧から《積み上げ横棒》(左から2番目) をクリック
- ⑥ 《OK》をクリック


## 16

- ① シート「Sheet1」が表示されていることを確認
- ② ステータスバーの表示倍率が100%になっていることを確認
- ③ ステータスバーの  (縮小) を2回クリック
- ④ グラフエリアをドラッグして、移動(目安:セル【A12】)
- ⑤ グラフエリアの右下の○(ハンドル)をドラッグして、サイズを変更(目安:セル【E28】)

## 17

- ① ピボットグラフを選択
- ② 《デザイン》タブを選択
- ③ 《データ》グループの  (行/列の切り替え) をクリック



## 18

- ① ピボットグラフを選択
- ② 《デザイン》タブを選択
- ③ 《グラフのレイアウト》グループの  (クイックレイアウト) をクリック
- ④ 《レイアウト1》(左から1番目、上から1番目) をクリック





## 19

- ① グラフタイトルをクリック
- ② グラフタイトルを再度クリック
- ③ 「グラフタイトル」を削除し、「家庭用冷凍庫売上」と入力
- ④ グラフタイトル以外の場所をクリック


## 20

- 1 ピボットグラフを選択
- 2 《デザイン》タブを選択
- 3 《グラフスタイル》グループの  (その他) をクリック
- 4 《スタイル6》をクリック
- 5 《グラフスタイル》グループの  (グラフクイックカラー) をクリック
- 6 《カラフル》の《カラフルなパレット4》(上から4番目) をクリック



## 21

- 1 ピボットグラフのグラフエリアを選択
- 2 《ホーム》タブを選択
- 3 《フォント》グループの  (9) (フォントサイズ) の  をクリック
- 4 《12》をクリック
- 5 グラフタイトルを選択
- 6 《フォント》グループの  (14.4) (フォントサイズ) の  をクリック
- 7 《16》をクリック

## 22

- 1 ピボットグラフを選択
- 2 《デザイン》タブを選択
- 3 《グラフのレイアウト》グループの  (グラフ要素を追加) をクリック
- 4 《凡例》をポイント
- 5 《下》をクリック

## 23

- 1 ピボットグラフを選択
  - 2 《デザイン》タブを選択
  - 3 《グラフのレイアウト》グループの  (グラフ要素を追加) をクリック
  - 4 《軸ラベル》をポイント
  - 5 《第1横軸》をクリック
  - 6 軸ラベルが選択されていることを確認
  - 7 軸ラベルをクリック
  - 8 「軸ラベル」を削除し、「(円)」と入力
  - 9 軸ラベルの枠線をドラッグして、移動
- ※ドラッグ中、マウスポインターの形が  に変わります。

## 24

- 1 シート「Sheet1」のセル【A4】をクリック
- 2 「商品名」と入力
- 3 セル【B3】をクリック
- 4 「売上日」と入力

25

① ピボットテーブル内のセルまたはピボットグラフを選択

② 《ピボットテーブル分析》タブを選択

※《ピボットグラフ分析》タブを選択してもかまいません。


③ 《フィルター》グループの  スライサーの挿入 (スライサーの挿入) をクリック

④ 「得意先名」を  にする

⑤ 《OK》をクリック

※ピボットテーブルやピボットグラフと重ならない位置にスライサーを移動しておきましょう。


⑥ 「得意先名」のスライサーの「イケガミ電機株式会社」をクリック

⑦  (複数選択) をクリック

⑧ 「得意先名」のスライサーの「株式会社陽光ゼネラル」をクリック

**POINT** 

ピボットテーブルやピボットグラフのデザインに合わせて、スライサーのスタイルも変更できます。  
スライサーのスタイルを変更する方法は、次のとおりです。

◆ スライサーを選択 → 《スライサー》タブ → 《スライサースタイル》グループの  (その他)